

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年12月5日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	摂南大学	代表者名	八木紀一郎
担当者部署	経営学部 経営情報学科	連絡先電話番号	072-839-9319
担当者役職		担当者氏名	
住所	572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17の8		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	大阪府摂津市	連絡先部署	総務部 情報政策課
担当者氏名		連絡先電話番号	06-6383-1343
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	酒井 紀之
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	経験、知識が豊富で多くの的確なアドバイスを頂きました。自治体ごとの特色やグループとして扱う場合の留意点やその理由の説明が詳細、かつ、論理的で多くの気づきが得られました。また、こちらが希望している最終形と現状のギャップを分析していただき、タスクの設定例や実行に移す際の取り掛かり部分や企画の進め方についても実践的にご教示いただきました。さらに、学生の視点での質問にも丁寧に答えていただき、IT業界での就職を考える上で基盤となる知識やスキルの身につけ方や、今後の展望についても大学の講義のようにアカデミックに説明していただけました。
アドバイザーへの要望事項	今後ご指導いただきたいです。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年11月28日	10時00分	14時30分	60	210
3-2. 派遣場所	会場名	摂南大学 経営学部 経営情報学科		最寄駅	京阪 寝屋川市駅
	所在地	大阪府寝屋川市池田中町17の8			
	最寄駅からの交通手段	バス			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	大学教員、学生	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	自治体の情報システムが再構築されていく中で、情報システムの効果的な運営、業務プロセスの改善、市民との協働活動の推進、効果的な人材育成の手法などを、地域を超えて共有し、活用する仕組みを創りたい。そのことによって多方面に連動する効率化を実現し、立場の違いを超えた協働関係を組織として創り出す。このような共創システムを構築するための具体的な作業タスクと検討フェーズの設定を行い、実現への道筋づくりを進めたい。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	複数の自治体に今回のプロジェクトを提案するにあたって、自治体の規模や地域性をどのように考慮すればいいかを把握したい。特に、考え方の違いや取り組み姿勢の差異がどの程度大きいものかについて情報を得て、今後の実施計画に練り込みたいと考えている。また、ICTを活用したボランティアや実用的な社会貢献活動の取組事例を知り、学生の教育活動とリンクしたICT人材の育成方法の方向性を検討したい。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	複数の自治体と関わる際の注意点や、自治体間の共同活動がスムーズに進む方法について説明を受けた。自治体規模が影響を与えるケースや、主たる発言者が地域によって異なることが分かった。本学の経営情報学科の学生が活躍できるICTを用いたボランティアを検討する上で、実践に向けた調整や事前学習の方向性などについて助言を受けた。さらに最新の技術動向を踏まえて、IT業界での就業に関する解説も受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	今後着手すべき事柄について明らかになった。地域間を結ぶために候補となる地域をクラスターにして、現在の活動状況や規模、組織の概要を掴む予定である。現在取り組んでいる自治体向けアプリの開発プロジェクトを発展させ、RPAの調査、分析、実施を行う実践教育プロジェクトの検討も行う。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	現時点で知りたい内容については網羅的に助言をいただいた。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートを行う段階ではないので実施していません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	複数の自治体、団体、企業などが連携して、自治体業務のみならず、地域経営全体の付加価値を上げる組織、および、システムを構築する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年12月5日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	摂南大学			代表者名	八木紀一郎
担当者部署	経営学部 経営情報学科			連絡先電話番号	072-839-9319
担当者役職	准教授	担当者氏名	久保 貞也	連絡先E-mail	
住所	572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17の8				

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	大阪府摂津市	連絡先部署	総務部 情報政策課
担当者氏名	平岩 慶介	連絡先電話番号	06-6383-1343
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	酒井 紀之
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	多数の活動実績をお持ちで、的確なコメントをされていた。自治体の特徴やベンダーの特性を踏まえて、整理された情報を提示されていたところが大変わかりやすかった。プロジェクトを進めるにあたって、ステークホルダー全体や開発後の運用、その後の発展まで俯瞰して意見や助言を出されており、まさにアドバイザーとして適任だと感じた。
アドバイザーへの要望事項	特に有りません

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年11月29日	11時00分	16時35分	60	275
3-2. 派遣場所	会場名	兵庫県民会館		最寄駅	神戸市営地下鉄 県庁前
	所在地	神戸市中央区下山手通4丁目16-3			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	自治体職員、一般、企業、ITコーディネーター、学生	88人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	自治体におけるICTの利用における技術的背景の理解 自治体の取り組みが実現した経緯や留意点の把握 地域での取り組みにおけるITベンダー、メーカー、他機関との関わり方の事例の確認 連携を行う際の留意点や注意事項の収集	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	複数の自治体をつなぐ際に行うべき実践的な作業のリストアップ 今回のプロジェクトに加えるべき組織、団体の検討方針の策定 最新の事例を知り、プロジェクトでの活用や方向性の修正のための資料収集を行う	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	1日目の内容に関して技術的基盤と組織や制度の関係性などの解説 事例紹介された内容についての解説や東北地方の事例との違いの説明 共同クラウドやRPAなどの最新事例の紹介と実現するための環境整備などの情報提供	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	今後の計画策定と実施の際に行うべきタスクの流れが把握できた。 アドバイザーやコーディネーターの助言を受けて行うべき計画の詳細部分のイメージが明確になった。 多くの事例について取組体制や必要な条件などが理解できたため、プロジェクトの見直しを図るべきポイントが明らかになった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	当方の準備が不足しているところが明らかになり(事務組織、予算、継続的な人員確保など)、計画の策定前に検討する必要がありました。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事業実施のためのアンケートは行っていません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	複数の自治体、団体、企業などが連携して、自治体業務のみならず、地域経営全体の付加価値を上げる組織、および、システムを構築する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

